

## 株式会社ニューメディア

### データ放送は、1日1回ケーブルテレビを利用してもらうための入口



山形県米沢市、高島町、南陽市、川西町でサービスを提供している(株)ニューメディア(代表取締役社長・酒井 彰氏。略称NCV)では、コミチャンへの接触率向上を図りながら“1日1回ケーブルテレビを利用してもらう入口”としてデータ放送を開始している。ホームページ等と比べてシンプルな操作がお年寄りにも好評で、朝起きたらまずはコミチャン(データ放送)をという視聴スタイルが定着している。

菅原真文氏 技術部(右)  
小林辰也氏 技術部

#### 毎日見ってもらうための工夫が大事

山形県の米沢市(本社)の他に、函館市、新潟市でサービスを提供している(株)ニューメディアでは、2014年10月1日からメディアキャストの「DataCaster M3」を導入し、2つのコミチャンと連動したデータ放送を開始している

同社ではこれまで、自治体情報や災害情報などはL字で提供してきたが、「これらの情報提供も大事だが、データ放送ではケーブルテレビをより身近に使ってもらうためのサービス(入口)として位置付ける必要がある」という観点から、コミチャン番組やコミュニティFM、ライブカメラとの連動に重きを置いた運用を図っている。

また、老若男女問わず誰でもインターネットの環境がなくても、テレビを通して必要な情報が簡単に入手できるように、軽快な操作性はもちろんのこと、情報の階層はシンプルに構成され、番組との連動も図っている。例えば、料理番組(『おきたまの食卓』)の放映中に、食材や作り方のレシピがリモコンの操作で表示できるなど、あたかもネットワーク経由で連動されているような体験もできる仕組みとなっている。

通常、データ放送を視聴するにはリモコンのdボタンを押す必要があるが、NCVでは、コミチャンの視聴中に自動的にデータ放送が立ち上がってくる仕組みを採用しており、番組との連動など、毎日使いたくなるような編成や工夫が施されている。

#### 毎日1問のクイズとポイント加算に人気

さらに注目されるのが、「今日のクイズ」である。ここでは、1日1問方式のクイズが出題され、視聴者はリモコンで応募。正解すると10

ポイント加算され、150ポイント溜まると「応募キーワード」が表示され、視聴者はその「キーワード」をNCVのホームページかハガキに書いて応募するという方法である。

クイズは一般常識や脳トレ的な問題で構成されていることから応募者は高齢者が多く、孫や夫婦など家族での応募が圧倒的に多いという。

クイズの賞品はコミチャン等で紹介されたお店の食事券や商品などが多く、地域コミュニティの活性化にも貢献されている。また、ネットやハガキでの応募には簡単なアンケート(視聴環境や通信環境等に関する質問)を設けており、回答応募者からの販促効果は高いという。

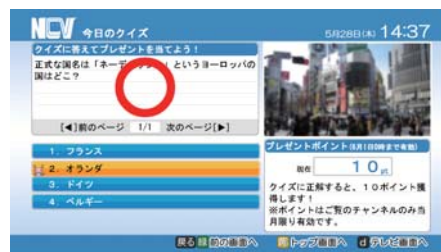
現在、データ放送で提供している内容は、①NCVニュース、②おくやみ情報、③お誕生日おめでとう、④道路河川情報、⑤おきたまの食卓、⑥ショップ情報、⑦天気予報、⑧ごみ情報、⑨健康(病院)関連情報、⑩クイズの10項目である。

このなかで「道路河川情報」は、第2コミチャンの「ライブカメラ&おきたまGO!」で放送されているサービス(音声部分はエフエムNCVを放送)だが、データ放送の音声機能を活用してライブカメラの映像とともにラジオが聴ける仕組みとなっている。

データ放送開始以降、「朝起きたらテレビ(データ放送)で道路情報を確認し、通勤や通学の移動中はラジオを聴く」という視聴形態が増えていることから、新たに電柱を設置して対応するなど、すでにライブカメラは十数台を超えている。

#### ネットとデータ放送の差別化が大事

一般的なデータ放送の活用事例として、「防災や防犯」、「行政情報」などの提供が多いが、NCVではこれら一般的な情報は「ごみ(カレンダー)と健康(今後は病院の



データ放送クイズ画面



データ放送道路河川情報画面



料理番組紹介のレシピのデータ放送画面

休日・夜間輪番情報予定)情報」の2項目に留めている。それは、これらの「行政情報」はすでにネットやスマホでも紹介されており、「ネットとデータ放送は差別化を図る必要がある」というのが理由である。

また、データ放送を活用した新たなサービスとして「ライブカメラ+データ放送+ラジオ」の組み合わせは重要で、こうした日々(毎日)更新される情報をいかにシンプルに提供するかが大事で、エリアや対象を絞ったサービスができるのがデータ放送の魅力だという。